

Japanese Journal of Religious Studies

年次報告

マシュー・D・マクマレン

Matthew D. McMULLEN

はじめに

ここでは2019年度における *Japanese Journal of Religious Studies* の出版活動報告を行う。内容としては、刊行物の目次一覧やオンライン論文についての近況報告、今後の活動計画に関する覚書を含む。

Japanese Journal of Religious Studies (以下 JJRS) は、国際的な英語雑誌として、日本と宗教に関する研究論文を公刊することを目的としている。JJRS の前身は、1960年に国際宗教研究所 (International Institute for the Study of Religions) によって創刊された *Contemporary Religion in Japan* で、この雑誌は国内外を問わず多くの人々が日本宗教について理解を深めることに貢献した。1974年、デイヴィッド・リードがわずかな休止期間を経て雑誌を復刊させるときに、日本の宗教に関する学識の拡大を受け、誌名を改めることとなった。JJRS はその後、1981年に現在の発行元となる南山宗教文化研究所に移ったのである。

今年、ポール・L・スワンソンは編集主幹としては史上最長の就任期間を経て、30年以上にも及ぶ雑誌の統括責任者の地位から退いた。JJRS と日本研究に携わる者として、本誌と宗教研究への彼の比類なき貢献に私は心から感謝の言葉を捧げたいと思

う。我々にとって幸運なことに、ポールはもう一年、南山諸宗教研究講座 (ローチ・チェア) に就任し研究所勤務を継続してくれることになった。できることならこれまでの功績が十分に報われた隠居生活を送って欲しいところなのだが、彼には名誉編集者として今後も JJRS に従事していただけるものと期待している。

活動実績

JJRS は DOI (Digital Object Identifiers) を使って、インターネット上に公開されている我々の論文について配信や参照のされ方を追跡している。Project Muse や Ebsco Host のような検索エンジンの多くは、それぞれのデータベース内に DOI のデータを持っており、DOI へのリンクがクリックされる度ごとに、ある特定の JJRS 論文に対する“ヒット”回数が記録される仕組みである。2019年3月から2020年3月までの間に、DOI リンクを通じて延べ44,617回 JJRS の論文が検索された。月ごとに見ると、検索結果の約半数が、平均して個人ユーザーによるものであった。

JJRS はまた、学術出版物について独自のデータベースを持ち、その内部で追跡結果を記録している JSTOR でも利用可能

である。2019年4月から2020年4月までの間に、JSTOR上では58,223回JJRSの論文が閲覧されており、そこから25,927本がダウンロードされている。

JJRSを定期的に読む場合に、読者の多くはNIRCのウェブサイトから直接アクセスして論文をダウンロードするのだが、ここでの数値はDOIやJSTORの結果を反映しているわけではない。また、当然ながら紙媒体で雑誌を読む場合についても、オンラインでの参照度をその合計に含めることはできない。したがって、我々が断言できるのは、JJRSの論文が2019年度に、オンライン上で最低でも102,840回閲覧されダウンロードされたということのみである。

ところで、2019年のJJRSは、二冊とも粒ぞろいの論文集となった。どちらも特集号ではないが、ハワイの神社について、16世紀のイエズス会病院について、江戸時代における制度としての修験道についてなど、さまざまな研究テーマが集まり特色が出ている。またそれぞれが、日本宗教の研究に関する最新の書評を含んでいるので、詳細は以下の目次一覧を参照されたい。JJRSは過去現在を問わず全ての論文が閲覧可能であり、南山宗教文化研究所のウェブサイトから誰でも自由にダウンロードすることができる。

JJRSの今後について

JJRSは投稿論文を先着順に審査しており、他誌がしているように提出期限を設けてい

ないが、直近では2021年春まで誌面が埋まっている。したがって、これから提出されたものを査読できるのは2021年秋以降になるが、これもすぐさま投稿枠が無くなる模様だ。

そして、現在我々は特集号を準備しているのだが、JJRSでは概して年に一冊は特集号を組むことにしていて、ゲストで招いた編集者に日本の宗教に関する具体的な特集テーマを決めてもらってきた。今年のテーマは中世日本における秘教の伝統を掲げており、僭越ながら筆者が編集責任者を務めている。そこでは秘教の継承と概念に関する諸論文に特化することで、日本における正統的な「密教」伝統を定義する試みに焦点を当てることになった。2021年の特集号については、現在申し込みを受け付け中であるため、どなたかご提案があれば、ぜひともご教示願いたい。

ちなみに、最新号からは南山宗教文化研究所のウェブサイト上でJJRSのどの特集号も単一のPDFファイルでまとめてダウンロードすることが可能となるので、読者は冊子で読むときと同じようなやり方で誌面を通読できるはずである。さらに、新規に刊行するものについてはeBook形式での運用も検討中であり、今後みなさまにはご自分のデバイスやアプリケーションに適した新しい読み方を提供できるのではないかと考えている。

マシュー・D・マクマレン
南山宗教文化研究所第一種研究所員

vol. 46 (2019) の目次

NO. 1

ARTICLES

- 1 Religion and Secularism in Overseas Shinto Shrines
A Case Study on Hilo Daijingū, 1898–1941
Karli SHIMIZU
- 31 Traversing the *Nenbutsu*
The Power of Ritual in Contemporary Japanese Buddhism
Gwendolyn GILLSON
- 53 Relying on Words and Letters
Scripture Recitation in the Japanese Rinzai Tradition
Erez JOSKOVICH
- 79 The Jesuit Hospital in the Religious Context of Sixteenth-Century Japan
James FUJITANI
- 103 The *Robe of Leaves*
A Nineteenth-Century Text of Shugendo Apologetics
George KLONOS

RESEARCH NOTE

- 129 Violence and How to Recognize Perceptual Bias
Reflections on Twenty Years of Research
INOUE Nobutaka

REVIEWS

- 137 Frédéric Girard, *Les dialogues de Dōgen en Chine* Didier DAVIN
- 140 Mitsutoshi Horii, *The Category of 'Religion' in Contemporary Japan: Shūkyō and Temple Buddhism* Masato KATO
- 145 Jason Ā. Josephson-Storm, *The Myth of Disenchantment: Magic, Modernity, and the Birth of Human Sciences* Esben PETERSEN
- 149 Contributors

ARTICLES

- 151 Finding a Place for Jizō
A Study of Jizō Statuary in the Buddhist Temples of Sendai
Alise Eishō DONNERE
- 173 Chōgen's Vision of Tōdaiji's Great Buddha
as Both Mahāvairocana and Amitābha
Evan S. INGRAM
- 193 From Marxism to Religion
Thought Crimes and Forced Conversions in Imperial Japan
Adam LYONS
- 219 The Fall Peak, Professional Culture,
and Document Production in Early Modern Haguro Shugendo
Frank CLEMENTS
- 247 Buddhist Networks: The Japanese Preparation for the
World's Parliament of Religions, 1892–1893
Aihua ZHENG
- 277 Ōnamochi
The Great God who Created All Under Heaven
Richard TORRANCE

REVIEWS

- 319 Duncan Ryūken Williams, *American Sutra: A Story of Faith and Freedom in the Second World War*
GEORGE TANABE
- 323 Erica Baffelli and Ian Reader, *Dynamism and the Ageing of a Japanese 'New' Religion: Transformations and the Founder*
Inken PROHL
- 326 Richard K. Payne, *Language in the Buddhist Tantra of Japan: Indic Roots of Mantra*
Ralph H. CRAIG III
- 329 Melissa Anne-Marie Curley, *Pure Land, Real World: Modern Buddhism, Japanese Leftists, and the Utopian Imagination*
Michael CONWAY
- 332 Levi McLaughlin, *Soka Gakkai's Human Revolution: The Rise of a Mimetic Nation in Modern Japan*
James Harry MORRIS
- 336 Edward R. Drott, *Buddhism and the Transformation of Old Age in Medieval Japan*
Ethan BUSHELLE

NOTES ON RECENT EDITED VOLUMES ON JAPANESE RELIGIONS

- 340 Karen M. Gerhart, ed., *Women, Rites, and Ritual Objects in Premodern Japan*
- 341 Fabio Rambelli, ed., *The Sea and the Sacred in Japan: Aspects of Maritime Religion*
- 341 Fabio Rambelli, ed., *Spirits and Animism in Contemporary Japan: The Invisible Empire*
- 343 Orion Klautau, ed., *Sengo rekishigaku to Nihon Bukkyō* 「戦後歴史学と日本仏教」(Postwar

Historiography and Japanese Buddhism)

- 343 Ōtani Eiichi 大谷栄一, Kikuchi Akira 菊池暁, and Nagaoka Takashi 長岡崇, eds., *Nihon shūkyōshi no kīwādo: Kindaishugi o koete*「日本宗教史のキーワード—近代主義を超えて」(Keywords in the History of Japanese Religions: Beyond Modernism)

Paul L. SWANSON

- 345 Contributors